

在ムンバイ日本国総領事館海外安全対策情報
平成26年度第2四半期（平成26年7月～9月）

1. 治安情勢

- 7月10日、マハーラーシュトラ州プネ市において爆弾事件が発生（後述）。
- 9月3日、アルカイダの指導者アイマン・ザワヒリがインターネット上に「インド亜大陸のアルカイダ」を創設したとの声明を発表したことを受け、インド中央政府は各治安機関に警戒を発令した。ムンバイにおいても祭礼時期に備え、治安当局は市内に部隊を増強し、警戒レベルを強化した。
- グジャラート州Vadodara (Baroda) 市においてフェイスブック上に掲載された宗教的な中傷コメント（画像）を端緒としてヒンドゥー・ムスリムのコミュニティー間で衝突が生じ、9月27日、28日にかけて投石やバイクへの放火、男性2人が刺傷する事態に発展した。警察は29日までに140人以上を逮捕した。
- 期間中のマオイスト襲撃事件等発生状況は以下のとおりである。
 - ・ マハーラーシュトラ州とチャッティースガル州との州境付近の森林内で任務中の警察部隊にマオイストが発砲し、警察官3人が負傷（8月）
 - ・ マハーラーシュトラ州とチャッティースガル州との州境付近の村でマオイストが設置した地雷により警察官1人が死亡、5人が負傷（9月）

2. 一般犯罪情勢

(1) 邦人被害事案

- 9月下旬、ムンバイ市内を観光中の邦人旅行者が、乗車したタクシー運転手に法外な金額を要求された。旅行者が要求を拒絶して車外に出ようとしたところ、運転手が旅行者のリュックサックを掴み、はずみで在中していた財布が車内に落ちた。運転手はそのまま走り去り、結果的に旅行者は財布を奪われた形になった。
- 9月下旬、ムンバイ市内を列車（Western Railway）で移動中の邦人旅行者が背負っていたリュックサックから財布を窃取された。

(2) 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

- ア 殺人
邦人被害の事件は認知していない。
- イ 強盗
邦人被害の事件は認知していない。
- ウ 強姦
邦人被害の事件は認知していない。

3. テロ・爆弾事件発生状況

7月10日午後2時30分ごろ、マハーラーシュトラ州プネ市中心部にある警察署付近で爆発があり、数人が負傷した。治安当局によると、爆発は警察署付近に停車中の盗難バイクに仕掛けられていた簡易爆弾によるもので、当局は「テロの可能性も除外できない」として捜査を継続している。

4. 誘拐・脅迫事件発生状況

期間中、誘拐・脅迫事件の発生はなかった。

5. 対日感情

9月7日、ムンバイ市内のマリンドライブに市民約120人が集まり、1日から始まった日本でのイルカ漁に対する抗議活動を行った。

6. 犯罪統計

ムンバイ市警察本部統計による2013/2014年1月1日～9月30日の犯罪認知件数は以下のとおり。

期間／罪種	2014年 1月1日～ 9月30日	2013年 1月1日～ 9月30日
殺人	135	119
強盗	1,039	1,517
強姦	468	284
傷害	2,729	2,857
窃盗	4,807	4,757
住宅侵入盗（昼間）	373	386
住宅侵入盗（夜間）	1,941	1,764